

用途ごとの方向性について(案)

(1) 学校給食センター (所管：教育政策課)

① 位置付け

学校給食を適正かつ円滑に実施するため、調理等の業務を実施する施設

② サービス提供の方針

小・中学校及び幼稚園における児童生徒及び園児の給食を提供するための重要な施設であり、安全かつ安定的に給食を提供できるよう、学校給食衛生管理基準に基づき必要な機能を維持します。

③ 基本的な考え方

更新時の方向性	厨房機器更新や施設改修の時期にあわせ、効率的かつ適正な規模への統合を検討します。
配置の考え方	大東及び大須賀学校給食センターは、設備の老朽化が著しく、建設時より給食喫食数が減少しているため、大東大須賀区域の公立幼稚園の認定こども園化事業に合わせ、施設の統合を検討します。今後も、児童、生徒数の変動や学校再編整備計画等、様々な視点から適切な給食施設の配置について検討します。
留意事項	厨房機器の更新には多額の費用を要するため、安定的な給食提供のためには、計画的な保守・更新が必要です。

④ 個別の建物（施設）について

※複数棟の場合、「建築年度」・「経過年数」は主な建物データによる

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物(施設)の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
給食文化苑こようの丘	平成14	17	1,682	大規模改修による長寿命化を基本としつつ、大規模改修時に他センター等の統合の可否を検討。		○			
大東学校給食センター	平成12	19	1,537	厨房機器更新にあわせ、大須賀学校給食センターとの統合を検討。	◇				
大須賀学校給食センター	平成元	30	982	厨房機器更新及び施設改修のタイミングにあわせ、大東学校給食センターへの統合を検討。	◇				
さかがわ学校給食センター	平成29	2	2,571	大規模改修による長寿命化を基本としつつ、大規模改修時に他センター等の統合の可否を検討。			○		

◎：建替え ○：大規模改修 ◇：統合 ☆：複合化 △：廃止 □：譲渡

(2) 子育て支援施設（所管：学校教育課、こども政策課）

① 位置付け

子育てに関する知識の普及及び啓発、児童生徒及びその保護者相互の交流の場の提供、教育関係職員の資質向上等を行うことで、子育てを支援し児童生徒の健全な育成を図るための施設

② サービス提供の方針

施設老朽化や公民でのサービス提供、需要量等の状況を踏まえつつ、複合化や譲渡等の公民連携の拡大を検討し、機能を維持するとともに、質のよいサービス提供を目指します。

③ 基本的な考え方

更新時の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センター、児童館・児童交流館については、行政が提供すべき機能として維持し、更新時には他の施設との複合化を検討します。 ・他の子育て支援拠点は、学童保育所との複合施設です。そのため、小学校と学童保育所との複合化の検討状況を踏まえた上で、民間施設で実施する類似事業の状況を考慮し、地域や民間への譲渡を基本に検討します。
配置の考え方	教育センターは市内で1箇所、児童館・児童交流館は区域ごとの配置を基本に検討します。
留意事項	

④ 個別の建物（施設）について

※複数棟の場合、「建築年度」・「経過年数」は主な建物データによる

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物(施設)の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
教育センター	昭和63	31	548	大東支所等との複合施設であり、大東支所周辺施設または、他の施設との複合化を検討。	☆				
児童交流館	昭和34	60	138	総合福祉センター「あいりーな」との複合施設として継続。					
大東児童館	昭和60	34	210	大東保健センターとの複合施設であり、大東支所周辺施設との複合化を検討。	☆				
大須賀児童館	昭和61	33	286	大須賀老人福祉センターとの複合施設であり、大須賀支所周辺施設との複合化を検討。	☆				
上内田にこにこひろば	昭和54	40	405	複合化している学童保育所の配置検討にあわせ、地域等への譲渡を検討。		□			
倉真パンダひろば	昭和54	40	329	複合化している学童保育所の配置検討にあわせ、地域等への譲渡を検討。		□			

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物(施設)の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
つくしなかよし広場	昭和51	43	551	複合化している学童保育所の配置検討にあわせ、地域等への譲渡を検討。		□			

◎：建替え ○：大規模改修 ◇：統合 ☆：複合化 △：廃止 □：譲渡

(3) 保健・医療・福祉施設（所管：維持管理課、福祉課、長寿推進課、健康医療課、地域包括ケア推進課）

① 位置付け

市民の健康の維持増進及び福祉の向上を図るための施設

② サービス提供の方針

各施設の有する機能ごとに、公民のサービス提供や需要量等の状況を踏まえつつ、施設の再配置の検討を通じて、行政が提供すべきサービスを効率的かつ適正に提供します。

③ 基本的な考え方

更新時の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ たまりーなについては、設備更新時に機能の一部廃止を検討します。 ・ 総合福祉センター、老人福祉センター、保健センター、地域健康医療支援センターについては、更新時に他の施設との複合化を検討します。 ・ ふくし館、高齢者いきいきセンターについては、地域生涯学習センターや学童保育所の統合・複合化の検討状況を踏まえつつ、更新時に複合化・廃止を検討します。 ・ ききょう荘については、更新時に近隣の同種施設との統合を検討します。
配置の考え方	それぞれの機能を勘案し、適正な配置を検討します。
留意事項	保健・医療・福祉に関する様々な施設が単一または複数の目的を持って整備されてきましたが、機能が重複する施設もあり、他分野の施設も含め整理が必要です。

④ 個別の建物（施設）について

※複数棟の場合、「建築年度」・「経過年数」は主な建物データによる

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物（施設）の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
22世紀の丘公園「たまりーな」	平成18	13	3,320	温水プール・温浴施設については設備更新時に機能廃止を検討。その他の施設は長寿命化を図る。	一部 △	○			
総合福祉センター「あいりーな」	昭和34	60	3,418	機能の継続を基本に、適切な維持管理を行う。					
西郷ふくし館	昭和57	37	567	地域生涯学習センターや複合化している学童保育所の配置検討や老朽化の状況を踏まえ、廃止を検討。			△		
原田ふくし館	昭和59	35	344	地域生涯学習センターや複合化している学童保育所の配置検討や老朽化の状況を踏まえ、廃止を検討。			△		

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物(施設)の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
和田岡ふくし館	昭和51	43	468	地域生涯学習センターや複合化している学童保育所の配置検討や老朽化の状況を踏まえ、廃止を検討。		△			
高齢者いきいきセンター	平成11	20	193	地域生涯学習センターの配置検討や老朽化の状況を踏まえ、他の施設との複合化を検討。		☆			
養護老人ホーム「ききょう荘」	昭和54	40	1,294	老朽化に伴い、近隣の同種施設との統合を検討。			◇		
老人福祉センター山王荘	昭和53	41	808	大東支所周辺施設との複合化を検討。	☆				
大須賀老人福祉センター	昭和62	32	713	大須賀児童館との複合施設であり、大須賀支所周辺施設との複合化を検討。	☆				
徳育保健センター	平成4	27	3,011	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。	○				
大東保健センター	昭和60	34	1,849	大東児童館との複合施設であり、大東支所周辺施設との複合化を検討。	☆				
東部地域健康医療支援センター(東部ふくしあ)	昭和46	48	936	老朽化に伴い、他施設との複合化を検討。		☆			
中部地域健康医療支援センター(中部ふくしあ)	平成5	26	3,195	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。	○				
西部地域健康医療支援センター(西部ふくしあ)	平成25	6	680	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。			○		
南部大東地域健康医療支援センター(南部大東ふくしあ)	昭和63	31	235	大東支所等との複合施設であり、大東支所周辺施設との複合化を検討。	☆				
南部大須賀地域健康医療支援センター(南部大須賀ふくしあ)	平成19	12	60	大須賀支所等との複合施設であり、大須賀支所周辺施設との複合化を検討。	☆				
つくし会館	昭和60	34	533	機能の継続を基本に、適切な維持管理を行う。					

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物(施設)の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
総合研修ホール (体育館)	昭和55	39	507	機能の継続を基本に、適切な維持管理を行う。					
睦三会館	昭和60	34	271	機能の継続を基本に、適切な維持管理を行う。					
千浜会館	昭和45	49	266	機能の継続を基本に、適切な維持管理を行う。					
浜野会館	昭和47	47	264	機能の継続を基本に、適切な維持管理を行う。					

◎：建替え ○：大規模改修 ◇：統合 ☆：複合化 △：廃止 □：譲渡

(4) 幼稚園、こども園（所管：こども希望課）

① 位置付け

就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供を行う施設

② サービス提供の方針

幼稚園等の教育施設を希望する世帯は年々減少している一方、保育園等の保育施設を希望する世帯は年々増加しています。

そのため、大東大須賀区域については、引き続き市立幼稚園の廃止及び私立認定こども園化を進めます。また、掛川区域の市立幼稚園については、民間譲渡・認定こども園化を含め、あり方を検討します。

③ 基本的な考え方

更新時の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 既存の認定こども園は、継続を基本とします。 掛川区域の市立幼稚園については、民間譲渡・認定こども園化を含め、あり方を検討します。 大東大須賀区域については、引き続き市立幼稚園の廃止及び私立認定こども園化を進めます。
配置の考え方	教育・保育需要及び官民サービス提供の状況を踏まえ、配置を検討します。
留意事項	子どもの人口推移と教育・保育需要の動向を踏まえるとともに、私立保育園等の立地も考慮した検討が必要となります。

④ 個別の建物（施設）について

※複数棟の場合、「建築年度」・「経過年数」は主な建物データによる

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物（施設）の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
三笠幼稚園	平成21	10	1,300	民間譲渡・認定こども園化を含めあり方を検討。	□				
さかがわ幼稚園	平成23	8	781	民間譲渡・認定こども園化を含めあり方を検討。	□				
千浜幼稚園	昭和47	47	1,114	私立認定こども園化に合わせ、平成30年度に解体済み。	△				
睦浜幼稚園	昭和57	37	964	私立認定こども園化に合わせ、令和元年度末で廃止予定。	△				
中幼稚園	昭和59	35	604	私立認定こども園化に合わせ、廃止。	△				
佐東幼稚園	昭和60	34	973	私立認定こども園化に合わせ、廃止。	△				
土方幼稚園	昭和52	42	903	私立認定こども園化に合わせ、廃止。	△				
大淵幼稚園	昭和52	42	1,115	私立認定こども園化に合わせ、廃止。	△				
横須賀幼稚園	昭和54	40	1,491	私立認定こども園化に合わせ、廃止。	△				

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物(施設)の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
すこやか こども園	平成 14	17	2,887	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。		○			

◎：建替え ○：大規模改修 ◇：統合 ☆：複合化 △：廃止 □：譲渡